

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2014. 11. 4

下水道機構の『新技術情報』 第163号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

11月になりました。機構ではクールビズも終わり、男性職員のネクタイ姿が新鮮に映りました。都内の木々も色づいてきました♪今週、11/7(金)は「立冬」だそうです。暦の上では、冬の始まりです。みなさま風邪など体調管理にはご注意ください。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第163号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・10/29(水)に高度処理ナレッジ創造戦略会議を開催しました
- ・10/31(金)にWeb版機関誌「下水道機構情報 plus+」第7号を配信しました！

■機構の動き

- ・今週の行事はありません

■Tea Break

- ・足るを知る者は富む(研究第一部 SSさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、まる子はお出かけのためお休みします m(__)m

■国からの情報

- ・10/31付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●10/29(水)に高度処理ナレッジ創造戦略会議を開催しました。

本会議は、遅々として進まない高度処理を、早期に安価で導入することが可能な処理方法の採用により、処理水質を段階的にでも向上する「段階的高度処理」を推進するため、国土交通省水管理・国土保全局下水道部と本機構が事務局となり、設置されたものです。

昨年度は、既存施設を活用して運転管理の工夫等による好事例を収集して高度処理

ナレッジ集を作成しました。今年度は活用可能な技術や実践で得られるデータを追加収集して、段階的高度処理普及ガイドライン（案）（仮称）の作成を行う予定です。

委員は、国土交通省国土技術政策総合研究所の山下室長を座長とし、日本下水道事業団、埼玉県、千葉県、東京都、京都府、船橋市、川崎市、四日市市、大阪市、東広島市、周南市、久留米市、日本下水道施設管理業協会の計 14 名で構成され、特別委員として、国土交通省水管理・国土保全局下水道部 加藤流域管理官も出席されました。

第 1 回目の今回は、新下水道ビジョンにおいて提案された水環境に対する新たなアプローチとそれに対する今年度の取り組み、段階的高度処理普及ガイドライン（案）（仮称）の構成、今年度収集した好事例アンケートの中間報告、各都市の事例紹介を説明し、意見交換を行いました。

今回は、段階的高度処理普及ガイドライン（案）の提示を行い、内容について検討する予定です。

●10/31(金)に Web 版機関誌「下水道機構情報 plus+」第 7 号を配信しました！

パソコンの設定等によっては、ご覧いただけない場合があります。この場合は、お手数をおかけしますが、次のアドレスにアクセスをしてご覧ください。

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/index.html>

。。。。

機構の動き （機構の行事予定です）

。。。

○平成 26 年 11 月 12 日(水) 10:00～15:00

行 事：平成 26 年度 第 2-2 回 第 1 審査証明委員会

場 所：滋賀県愛知郡愛荘町

案 件：26 年度新規申請案件 1 件の現場試験立会・審議

○平成 26 年 11 月 12 日(水) 10:00～11:40

行 事：平成 26 年度 第 1 回 調査検討支援委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

案 件：昨年度議事録の説明及び今回助言対象の説明他

○平成 26 年 11 月 13 日(木) 10:00～15:00

行 事：平成 26 年度 第 2-2 回 第 3 審査証明委員会

場 所：滋賀県草津市

案 件：26 年度新規申請案件 1 件の現場試験立会・審議

○平成 26 年 11 月 14 日(木) 10:00～15:00

行 事：平成 26 年度 第 2-2 回 第 4 審査証明委員会

場 所：兵庫県加西市

案 件：26 年度新規申請案件 1 件の現場試験立会・審議

○平成 26 年 11 月 13 日(木) 17 : 00~18 : 00

行 事 : 第 331 回技術サロン

場 所 : 機構 8 階 中会議室

ゲスト : 下水道機構 企画部長 中島英一郎

テーマ : インドネシアにおける汚水マネジメントの状況

※参加お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○第 60 回下水道新技術セミナー テーマ : 「局所豪雨等に対する浸水対策技術」

【東京会場】平成 26 年 11 月 21 日(金)

場 所 : 東京都港区 発明会館

時 間 : 13 : 00~16 : 45(受付 12 : 30~)

【大阪会場】平成 26 年 11 月 28 日(金)

場 所 : 大阪市西区 大阪科学技術センター

時 間 : 12 : 25~15 : 50(受付 : 12 : 00~)

※詳細、申し込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●足るを知る者は富む (研究第一部 SS さんからの投稿です)

今日は最近読んだ本を紹介いたします。

「フランス人は 10 着しか服を持たない」(大和書房)

ありがちな本だな、と思ったそのあなた！確かにありがちかもしれません(笑)

この本には、物質主義に踊らされず、上質な物(大切な物)を少しだけ持ち、大切に使う。今おかれている日常に感謝し、その日常のなかにささやかな喜びを見つける、それが心からの満足につながる、ということが書かれています。

私がこのタイトルに惹かれたのは、昨年ポーランドに行った際に感じた、「足るを知る生活」とリンクすると感じたからです。ポーランドではあまりにお金を使わず(というかお金を使う場所が無く)、この商売っ気の無い国の将来を案じてしまうほどでしたが、日を追うごとに穏やかな生活に満足している自分いることに気づきました。

ただ、帰りのトランジットでミュンヘンの空港内にどどーんと立ち並ぶブランド店を見た瞬間「やっぱりこれだよね〜！」と叫んでしまった私ではありますが・・・(気持ちのメリハリも大切という事でご愛嬌デス)

ネット社会になった私たちの日常には、どこでも 24 時間、情報が蔓延しており、情報の波に溺れている人もいますかと思えます。(少なくとも私は溺れかけています(笑)) そんな現代にしみじみとした幸せを感じる生活をこの本は提案しています。○○が欲しい、○○があればなあ〜、と思っているあなた！今手にしている物・人・環境をち

国交省下水道部・日本下水道協会等が中心となって取り組んでいる、「ビストロ下水道」が紹介されます。トレインチャンネルとは、世界各地や日本のエコな取組み・プロジェクトを電車の扉の上の液晶画面で放映するパナソニック提供の広報コンテンツです。電車放送の終了後には、youtube で閲覧することができます。

「暮らしのエコナビ」で検索！！

→ <https://www.youtube.com/playlist?list=PLtJFU9j2aIZuZawGb7ImU0ZZZsQERmWBx>

●新潟市で初の企画となる「下水道の路めぐり in 古町」を10/18（土）に開催しました【新潟市】

<企画内容>

新潟市中央区古町地区において、市民が普段、何気なく使っている下水道。生活で使用した汚水と空から降ってくる雨水をあわせた「下水」が、柵から流入して、下水管、マンホール、ポンプ場などを流れて下水処理場にたどり着き、「きれいな処理水」に生まれ変わるまでの「下水道の路（みち）」を歩きます。実際の下水の流れに沿って、下水管ルートの上を歩くことで「下水の流れ（みち）」を感じ、道中では、4種類のデザインマンホール蓋を発見したり、マンホールや下水管の中を覗き下水の流れを確認したり、ポンプ場や処理場を見学するなど、下水道の仕組み、役割や大切さを学びます。また、同行していただく新潟シティガイドの方から、堀のあった時代、下水道が整備される前の生活習慣や歴史・文化などを学び、より下水道を身近に感じることで、下水道への興味を深め、下水道の応援団をつくります。新潟市ホームページで開催報告を掲載しております。

新潟市ホームページ

→

<http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/jyogesuido/gesui/info/gesuidounomitika/isai.html>

※D i v aの「地下水道」

→ <http://j-lyric.net/artist/a05481f/1025ddb.html>

→ <http://avex.jp/diva/profile/>

=====

◆水処理各社、海外に活路 栗田工業、独社の事業買収〈10/27 日本経済新聞〉

http://www.nikkei.com/article/DGXLASDZ27HKH_X21C14A0TJ2000/

◆小学校地下に巨大貯水槽 雨水ため氾濫防止へ〈10/28 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/homeguide/news/20141027-0YT8T50184.html>

◆放置車両の撤去訓練 首都直下地震を想定、9都県市〈10/29 共同通信〉

<http://www.47news.jp/CN/201410/CN2014102901001698.html>

◆浸水被害から一時避難所協定、滋賀・草津市が15施設と締結へ〈10/30 産経新聞〉

<http://www.sankei.com/region/news/141030/rgn1410300027-n1.html>

◆下水処理施設でガス発電〈10/30 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/ibaraki/news/20141029-0YTNT50465.html>

◆<横浜の下水道>迫る老朽化 30年後、8割更新へ 再整備費年間2800億円
も 市、動画で理解呼び掛け〈10/31 毎日新聞〉

http://news.goo.ne.jp/article/mainichi_region/region/mainichi_region-20141031ddlk14010264000c.html

◆塩釜市が下水道貯留管敷設前に見学会〈10/24 河北新報〉

http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201410/20141024_11005.html

◆千波湖岸辺に水草植樹 水質浄化実行委〈10/28 茨城新聞〉

http://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=14144079514358

◆吉川浄水場は4カ月停止 巨大地震発生想定〈10/28 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/article/shiga/20141028/CK2014102802000008.html>

◆トイレトーパー 災害時に安定供給 安中市協定書〈10/29 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/gunma/20141028/CK2014102802000165.html>

◆中能登にバイオ発電施設 来年度から整備 17年度稼働目指す〈10/29 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/article/ishikawa/20141029/CK2014102902000042.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20140410/seikai6.pdf>
